



2021. 6. 1 五色台少年自然センターで撮影

## ユキノシタ (ユキノシタ科)

本州や四国、九州の湿った場所に生える<sup>たねんそう</sup>多年草です。  
<sup>かべん</sup>花弁（花びら）の、下の2枚だけが雪のように白く、  
大きいことから「雪の舌」と名付けられました（諸説あり）。葉は肉厚で柔らかく、天ぷらにして食べることができます。葉のしぼり汁は、子どものひきつけや中耳炎、虫刺されなどに効くとされ、子を想う親に用いられてきたために、花言葉は「深い愛情」です。